

みさき

58号



議会HPへアクセスします

美咲町議会だより

2019年11月10日発行



主な内容

平成30年度決算審議 ②～⑤

こんなことが決まりました ⑥～⑦

9議員が町政を問う ⑭～⑰

議会報告会及び意見交換会 ⑳～㉓

大きく育て美咲の子ども やさしい心につつまれて

美咲町HPアドレス <http://www.town.misaki.okayama.jp/index.htm>

表紙関連記事23ページ



3日間にわたり決算認定特別委員会を開催し、30年度決算について各委員からの意見を集約。

各委員が決算や事業内容をチェック



決算審査において、各議員から出された指摘事項80項目をまとめた報告書を松田委員長、左居副委員長から松島議長へ提出。

決算認定特別委員会の報告書を松島議長へ提出



決算認定特別委員会からの報告書を基にまとめた議会からの要望書を松島議長、金谷副議長から青野町長へ提出。

議会からの要望書を青野町長へ提出

平成30年度
決算認定

80項目の意見を付して
全会一致で承認



決算認定特別委員会からの報告

決算認定特別委員会は、前年度で執行された予算が適正なものであったかを確認するため、全ての課が所管する決算について審査を担当しています。

委員長／松田英二 副委員長／左居喜次 ほかに全議員を委員とする13人で審査しています。

来年度に向けて

全体総括意見を付す！

本会議での委員長報告において指摘した特に付しておくべき意見は以下の通りです。

意見

行財政改革大綱の見直し

地方交付税の減額や町税の減少など今後予測される財源の縮小に対応するため、行財政改革大綱の見直しを早急に行うこと。

意見

基金積立金の検証

44種類の基金積立金の内、一度も使われていない基金については、整理・統合などを検証する時期にきている。

意見

民間活力導入事業の精査

指定管理者制度などの民間活力導入事業全般について考え方を協議し、対象事業の精査など総合的な見直しが必要である。

意見

事業効果の適正な評価

事業の推進にあたっては、効果を検証し廃止も含めた事業評価を行い、年間活動計画の適正な評価ができる体制の構築が必要。

意見

合併特例債の有効活用

まちづくりの有力な財源となる合併特例債の有効活用策について、第三次美咲町振興計画にその道筋が示されることを望む。

意見

適正な人員確保と配置

高齢化率50%を超える地域を多く抱える町の情勢を考慮した上で、適正な人員確保と人員配置に努めなければならない。

意見

水道事業の企業会計化

来年度から公営企業会計を導入する簡易水道事業では独立採算を基本とするが、水道料金の設定には十分な配慮を求める。

意見

介護予防の充実・強化

高齢者福祉に関しては地域支援事業における介護予防・重度化防止策の充実・強化を図れる体制づくりを目指すべき。

意見

義務教育学校の具体策

義務教育学校整備検討委員会での検討内容も佳境に入っている。具体策の策定にはスピード感を持った対応が求められる。



- 9月定例会：前年度決算を審査・認定

- 議会からの指摘・意見をとりまとめ
- 来年度予算などへの要望書を提出

- 3月定例会：来年度予算案を審議・承認

決算認定特別委員会では、決算状況や事業内容をチェックし、「来年度予算にどう反映させるか」という視点で審査を行いました。

決算審査 私の意見!

一般会計 104億9,194万円(前年度比1.8%増)
 24特別会計 66億8,954万円(前年度比1.6%増)

【※決算額は1万円未満四捨五入】

全議員13人を委員とする平成30年度歳入歳出決算特別委員会が設置され、9月11日から3日間にわたり決算審査を行いました。

今回の審査では、①議会が議決した予算が効果的・効率的に執行されているか②決算における評価を来年度予算編成や役場の運営にどのように反映させるのかという点を中心に審査を行いました。

ここでは各委員から出された80項目の指摘事項のうち主な意見を掲載します。

福祉・教育

主な事業 高齢者福祉、障がい者福祉
 児童福祉、学校教育など

民生費	26億3,366万円
教育費	8億5,125万円

安全・安心

主な事業 公共施設管理、防災、国際交流
 情報通信など

総務費	15億9,148万円
衛生費	9億7,807万円

金谷委員



長寿祝い金は誕生日に

長寿祝い金については9月15日の基準日ではなく誕生日の贈呈を求める。

延原委員



公共用地の計画的売却

利用されていない公共施設や公共用地について計画的な売却を求める。

藤井委員



特定健診の受診率向上

特定健康診査の実施にあたっては受診率向上に向けた対策を求める。

松島委員



人口増加に繋がる対策

公営住宅の譲渡などを含めた人口増加に向けた積極的な対応を求める。

山本委員



英語にふれあう機会の充実

小学生を対象にしたイングリッシュキャンプについてより充実した対応を求める。

岩野委員



避難場所への設備充実

緊急避難場所の指定箇所に対して設備の充実を図り安全面の向上を求める。

産業・建設

主な事業

農林業振興、道路整備、観光
災害復旧、企業誘致、水道など

農林水産業費	7億8,878万円
土木費	9億8,188万円
商工費	1億0,960万円

山田委員



道路の支障木伐採を早急に

道路維持管理における各地域での支障木伐採への早急な対応を求める。

貝阿彌委員



水道料金は据え置きで

水道事業の企業会計化に向けては水道料金の値上げにならないよう求める。

林田委員

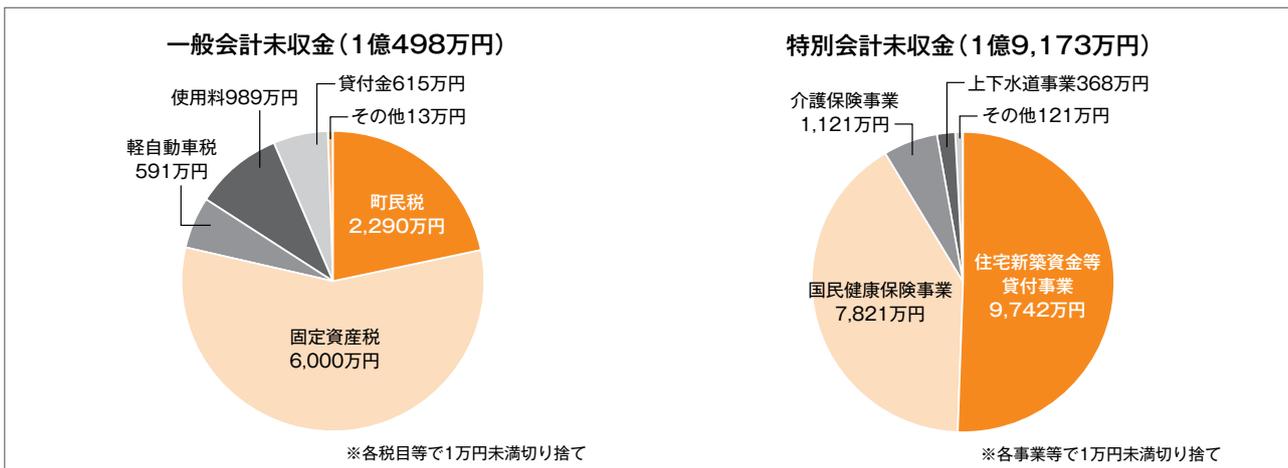


補助金事業の事務委託

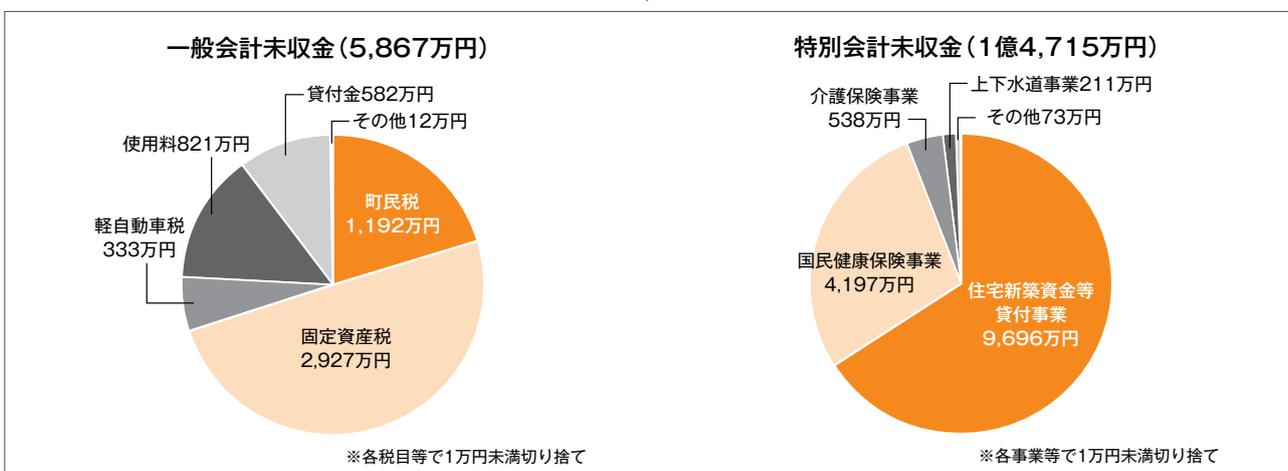
多面的機能交付金など補助金申請事務を委託できるように負担軽減を求める。

未収金の推移 (28年度決算との比較)

【平成28年度未収金】



【平成30年度未収金】



以上のような審議を経て、美咲町議会は
30年度一般会計・特別会計決算を**全会一致で認定**しました。

1期工事は来春着工へ

一般会計補正予算など37件の議案が議決されました。

加美小学校の校舎を改修

加美小学校の施設が老朽化したため今年度から大規模改修工事を行う。第1期で教室棟、第2期で管理棟と体育館を改修する。

〔小学校管理費 2億5,890万円〕



建設残土処分場を確保

建設工事で発生する残土置き場が満杯になったため、新しい処分場を県と共同で整備する。

〔土木総務費 1,370万円〕



津山柵原吉井線バスを更新

津山・柵原・吉井間を運行している共同バスの車両が老朽化したために新たに購入する。来年夏には更新する予定。

〔債務負担行為 2,000万円〕



森林管理の事前調査

山林の間伐や伐採など森林整備および森林管理に向けた資料作成・事前調査を実施する。

〔林業総務費 417万円〕



要望

残土処理場の確保と災害復旧工事に係る早急な支払事務を求める要望書

美咲町建設業協会

会長 下山 歩

要望の内容については行政側も対応を進めていることから全会一致で採択とした。

人事

人権擁護委員の選任に同意
人権擁護委員の選任が提案され、全会一致で同意した。任期は令和4年12月31日までの3年間。
(敬称略)



美咲町原田
平岡 充代(新任)



美咲町錦織
杉本八重美(新任)



美咲町安井
山下 善教(再任)

9月議会

でこんなことが
決まりました

加美小学校大規模改修

令和元年9月2日～9月20日まで定例議会が招集され

空き家撤去補助金を増額

空き家を撤去する時、これまで上限50万円の補助金を交付していたが、これを上限150万円に増額する。

〔企画管理費 133万円〕



保育料無償化への準備

本年10月1日から3歳～5歳の子どもを対象とした保育料無償化実施に伴い、円滑な運営を行うための準備を行う。

〔児童福祉総務費 183万円〕



○は賛成 ×は反対 (議長は裁決に加わりません)		松島議員	金谷議員	山本議員	貝阿彌議員	岩野議員	江原議員	松田議員	林田議員	左居議員	延原議員	形井議員	藤井議員	山田議員
議案第82号	会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例制定	議長	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×	○

意見の分かれた議案

【議案に対する討論】

[議案第82号] 総務産業常任委員会の審査結果は賛成	【条例制定に反対】 本来公務員は正規職員として公務を担い、継続性・専門性・地域性を高め、住民福祉の増進に努めなければならない。会計年度任用職員は継続性がなく、任務が困難。職員間の処遇の格差を生み反対。	藤井議員
	【条例制定に賛成】 地方公務員法などの上位法改正に伴って非常勤職員の待遇などを明確にするために必要な措置である。来年度から全国で施行される会計年度任用職員条例制定に賛成する。	山本議員



貝阿彌幸善議員

感謝状
全国町村議会議長会から感謝状として尽力された功績が認められ、全国町村議会議長会から貝阿彌幸善議員が感謝状を贈呈されました。

感謝状

条例

〔公共施設の利用料金を改定〕
消費税率の改定に伴う関係条例の一部改正
令和元年10月1日から施行される消費税および地方消費税増税(10%)に伴い、町内公共施設の利用料金を改正する。
〔森林を整備するための基金を新設〕
森林環境譲与税基金条例
山林の間伐、担い手の確保、木材の利用促進、森林整備などを促進させる財源を確保するため基金を設置する。

委員会 の活動

総務・産業常任委員会からの報告

総務・産業常任委員会は、総務課、理財課、地域みらい課、くらし安全課、上下水道課、建設課、産業観光課が所管する予算その他の案件について審議を担当しています。

委員長／山本宏治 副委員長／延原正憲 委員／松田英二、江原耕司、岩野正則、貝阿彌幸善の6人で審議しています。

【総務課】

個人番号カード利用対応

問 マイナンバーカード利用への環境整備の内容は。

答 利用促進に対応するパソコンリース料や臨時職員の人件費など186万6千円。

【地域みらい課】

空き家撤去補助金増額

問 空き家撤去補助金の増額内容は。

答 撤去促進を図るため上限50万円を150万円に増額し、2件を見込んでいる。

【くらし安全課】

防災カメラ5カ所増設

問 防災カメラ設置20カ所の内訳と更新カメラの台数は。

答 既設の12カ所、移設3カ所に加えヘリポートなど5カ所を増設し、うちカメラの更新は15台で再利用は5台。



西川浄水場(西川地内)

西川浄水場の設備更新予定の現地視察を行った。

旭地域の生活水供給の基幹施設であり、老朽化した設備の早急な更新が必要と認めた。

【上下水道課】

西川浄水場設備更新

問 機械設備更新の理由と内容は。

答 西川浄水場の機械設備は20年以上経過し、老朽化により故障が多発している。生活水の安定供給を図る。

【産業観光課】

産地パワーアップ推進

問 対象事業と事業内容は。

答 ぶどう産地形成を目的としてJAを通じてぶどう棚やハウスの生産資材を助成するもので、ぶどうの切れ目ない出荷を確保し産地化を図る。

【建設課】

中央地域残土処分場

問 使用目的と事業内容は。

答 中央地域の公共工事の残土処分場として県の半額負担により、打穴里地内に新規に建設する。

視察調査報告 ▶ 美しい農村景観を活かしたまちづくり・美瑛町



観光政策4つの戦略

美瑛町は北海道のほぼ中央部に位置する人口約10,000人の町である。

基幹産業は農業で畑作を中心に生産額は年120億円となっている。

一方、波状丘陵の雄大で美しい景観から観光客が年間220万人も訪れ、商品の販売額も194億円にのぼっている。

【視察の目的】

● 美瑛町には史跡・景

勝地・産業遺産など多くの観光資源がある。

これらを有効に活用し、町の活性化を図るため、国が推進している日本版DMO（観光地域づくり法人）制度を導入して成果を上げている先進地である美瑛町の「丘のまちびえいDMO」を視察先に選定した。

【DMOの活動状況】

● 平成24年10月町が全額300万円を出資し
 一般財団法人丘のま

ちびえい活性化協議会を設立して観光産業発展を目指して活動を始めた。

● 活動内容としては、住民の観光への理解促進

● 新たな観光商品開発・提供

● 情報発信

● 受け入れ態勢の整備の4つを戦略としてそれぞれ具体的に取り組んでいる。

【町の支援体制】

● 政策的支援

● まちづくり条例の制定

● 景観条例の制定

● 観光マスタープランの策定など

● 財政的支援

● DMO活動への補助金8億円（半額は国の補助）。

● 活性化交流施設などの指定管理料4億円など。



丘のまち びえいの風景

【参加者の感想】

● 美瑛町観光マスタープランを策定し、住民

のくらしと観光の融合による魅力あるまちづくりに目標を定め町全体で取り組んでいる。

● 成功事例とされている先進地のDMOでも町や国の財政支援がなければ運営が困難な状況が分かった。

● 観光協会のない美瑛町にとって地域DMOの登録は観光政策に必

要だと考えられるが、しっかりと研究が必要。

【本町における取り組み】

● 視察先の美瑛町と本町の観光資源には異質のものも多くあるが、町内の観光資源を有機的に結び付けた滞在型観光に発展させるには、公民連携した活動組織を立ち上げ、実績を積み上げて、地域DMOの登録に挑戦することが重要である。

委員会 の活動

民生・教育常任委員会からの報告

民生・教育常任委員会は、住民税務課、保険年金課、健康推進課、徴収対策室、福祉事務所、教育総務課、生涯学習課が所管する予算その他の案件について審議を担当しています。

委員長／左居喜次 副委員長／形井 圓 委員／山田雄二、藤井智江、林田 実、金谷高子の6人で審議しています。

【住民税務課】

マイナンバーカードの利用促進

問 マイナンバーカードを利用するメリットは。

答 令和2年2月よりマイナンバーカードを使用して住民票などのコンビニ交付サービスなどができる。

【健康推進課】

郷土料理の普及啓発

問 郷土料理を普及させる手立ては。

答 食育について若い世代に郷土料理を普及啓発するために、レシピカードを作成し活用する。

【健康推進課】

大井和ふれあいプラザの整備

問 大井和ふれあいプラザをどのように整備するのか。

答 令和2年度から指定管理に変更するため、施設周辺の支障木伐採などをする。



加美小学校(原田地内)

加美小学校大規模改修事業の現地視察を行い、工事概要・進捗状況・工程についての説明を受けた。

工事期間中は誘導員を配置し安全最優先で工事を進める。騒音に関しては大きな音が出る工事は土日に行くなど配慮がされる。

【福祉事務所】

社会福祉備品の配備

問 どこに何を配備するのか。

答 福祉避難所であるふれあいセンター、あさひが丘、静香園、かしの木荘へ避難所用テント、ベッド、目隠しシートを配備する。

【教育総務課】

中央児童館の児童厚生員の増員

問 児童厚生員増員の内容は。

答 中央児童館の利用者の増加に伴い、児童厚生員を2人から3人に増員する。

【教育総務課】

加美小学校の大規模改修

問 大規模改修の内容は。

答 1期工事として本年度末に仮設校舎を設置する。来年4月に児童が移り、教室棟の改修を行う。その後、管理棟・体育館の改修を行う。

視察調査報告 ▶ すべての住民が活躍できる共生のまち創り



共生のまちづくりを目指して

北海道当別町は、札幌市都心部より車やJRで約40分という便利さでアクセスできる人口1万6,281人、高齢化率は33.2%(平成30年1月1日現在)の町である。

【視察の目的】

● 共生のまち創りの実現を目指し、北海道医療大学と連携したユニークな事業運営を行っている「社会福祉法人ゆうゆう(以下ゆうゆう)」では、全ての住民が活躍できる、さま

ざまな場とサービス提供を通じ、地域全体で支えられる共生のまち創りの実現を目指している。

子ども、高齢者、障がい者など、年齢や障がいの種別を超えた「地域住民の交流」を図り、「困った時はお互いさま」の精神で地域福祉を支えるさまざまな住民のボランティア活動情報を集積し、推進している。

本町では、高齢者施設への子どもたちの訪

問、また、障がい者施設の行事への地域住民の参加など、施設の行事の中で多くの交流が見られる。子ども、高齢者、障がい者とかではなく、地域に住まう全ての人々が、生活の一部として交流が図れることを目的とし、今回視察を行った。

【事業の概要】

● 「共生型地域福祉ターミナルみんなのうた」では、ゆうゆうと町の社会福祉協議会が運営するそれぞれのボランティアセンターが机を並べて業務に当たっており、地域福祉を支えるさまざまな住民のボランティア活動情報を集積し、推進するための拠点となり、ひと月約1,000人の人たちが出入りする、地域交流の場となっている。

また「共生型オープンサロン」では、地域交流の場として障がい者当事者の人たちが主



町民の1割がボランティア

体となって喫茶店と駄菓子屋さんを運営している。幅広い世代の人に喜ばれるメニューを用意しており、広く地域住民が利用し、つながり、理解し合い、同じ地域で共に生きていくことが実感できる町づくりを目指している。

【参加者の感想】

● 若い人達のボランティア活動を起点として、あらゆる人びとを巻き込んだまちづくりが進められている。

地域・法人・ボランティア・専門職が連携した取り組みを行政が

後押しし、生活支援と介護予防を実現している。

特に年齢や障がいなど対象者を限定せず、自然な見守りや交流に参加する住民が増加しており、自然な形での充実した活動は、大いに参考になるものであった。

【本町の取り組み】

● 本町でも、「人を大切にする」まちづくりを目指し、人材発掘と育成に取り組み、住民の連携をさらに進める必要がある。

委員会 の活動

視察調査報告 ▶ 都市と農山村の交流を基軸とした地方創生と過疎対策・上士幌町



蘇った 奇跡の町

北海道 上士幌町は大雪山国立公園の東山麓に位置する人口約5,000人の町である。面積は695平方キロメートルで美咲町の約3倍で山林76%耕地14%である。基幹産業は農業で畜産を中心に生産額は226億円である。商業の販売額は88億円で観光客は年間36万人である。

【視察研修の目的】

● 人口5,000人の過疎の町から「地方創生」のフロントランナーとして蘇った奇跡の町として全国に紹介され、ふるさと納税額も20億円を超える町の取り組み状況を視察先とした。

● **【上士幌町の取り組み】**
平成16年3月に自立のための「5」の将来像を策定し具体的な政

策に取り組んでいる。

● 環境の浄化など多面的な機能を持つ森林資源が活かされているまち

● ナイタイ（日本一広い1700haの公共牧場）、農村景観、糠平・十勝三股を核に観光産業が活発なまち

● お互いが助け合い協働するまち

● 農業が栄え心豊かな農村のまち

● 都市と農山村の交流が活発でにぎわいのあるまち

具体的政策

・ 家畜糞尿によるバイオマス発電

・ 町内全域に光回線網

・ 移住定住促進お試し暮らし住宅10戸

・ 認定こども園完全無料化

・ 東京でふるさと納税

・ 大感謝祭開催

・ 健康ポイント制度

・ 町道を使用した自動

運転バスの実証実験を誘致



日本一の公共牧場

● **【参加者の感想】**
町で仕事斡旋の人材センターなど

● 人口減少を正面からとらえて将来像を共有して積極的に取り組んでいる。

● 町長自ら説明されるなど熱い姿勢に感動した。

● 堆肥利用しかなかった家畜の糞尿をバ

イオマス発電の資源に活用する発想と北海道電力に売電を了解させた努力を評価。

● ふるさと納税への積極的な取り組みと納税者への感謝祭開催など応援者への配慮には感心した。

● 国からの支援を待つだけの市町村が多いなかで、企業も含め自ら打って出る姿勢が大切だ。

町政を問う

一般質問は町民を代表し、

町長・教育長などに

町の方針や施策を問います。

ページ	議員名	質問内容
14	延原 正憲	1. 鳥獣被害防止の具体的推進策は 2. 美咲町公共施設等総合管理計画の見直しは
15	左居 喜次	1. 事務効率化のために地形図作成を 2. 水出し操法用の訓練場所整備を
16	山田 雄二	1. 町は美作岡山道路の地元調整をしたのか 2. 苫田ダム事前放流の周知は ◇ 義務教育学校を進める根拠は
17	貝阿彌幸善	1. 町政の問題点と課題解決策は 2. 町の現状に対する副町長の見解は ◇ 小中学校の現状と課題

ページ	議員名	質問内容
18	藤井 智江	1. 柵原中学校建設がなぜ義務教育学校なのか 2. 国民健康保険税の欠陥を認めるか ◇ 保育料無償化に伴う本町の方針は
19	形井 圓	1. 過大徴収された介護保険料はどうする 2. 美作岡山道路の推進方針は
20	金谷 高子	1. みさき創生総合戦略の成果は 2. 電子母子手帳の導入はできないか
21	松田 英二	1. 防犯カメラ設置補助金の復活を
	岩野 正則	1. 柵田の観光・営農・活性化策は

議会だよりには、2問まで掲載
しています。
掲載できなかった質問は◇で
表示しています。



延原正憲 議員

質問 鳥獣被害防止の具体的推進策は

答弁 侵入防護柵と捕獲駆除で地域を守りたい



電柵したのに侵入されてしまった。

問 町長はこれまでの所信表明で鳥獣被害防止は喫緊の課題と述べている。

① 町の基本方針と推進策は。

② 平成30年度の農作物の被害状況と有害鳥獣の捕獲実績は。

③ 駆除班員の狩猟免許更新経費の補助は。

④ 捕獲獣のジビエ活用の課題は。

⑤ 美咲町鳥獣被害防止対策協議会の活用策は。

答 青野町長

① 侵入防止柵と捕獲・駆除を推進し地域を守りたい。

③ 近隣市町村の補助制

度などの調査とあわせて、状況を見守りたい。

④ 駆除班員のジビエ施設への持ち込みにより、有利な補助金など環境を醸成し、また、捕獲

駆除に対する意欲向上につながる状況を重ねていくことが大切であると考える。

⑤ 鳥獣被害が軽減できるように協議を重ねたい。

② 立石産業観光課長

② 農作物被害額は農業共済の資料によると約1,066万円で、

捕獲実績はイノシシ1,274頭、シカ199頭、ヌートリア99頭となっている。

質問 美咲町公共施設等総合管理計画の見直しは

答弁 必要があれば見直しを行う

問 平成28年度策定の公共施設等総合管理計画は第二次振興計画を上位計画としている。

① 第三次振興計画策定に伴いこの計画は見直すのか。

② 令和28年までの30年間に公共施設を42%削減する目標は見直すのか。

③ 削減に伴う町有財産の売払いの処理要綱の見直しはあるのか。

④ 直近3年間の町有財産の売却状況は。

答 青野町長

① 第三次振興計画案を来年3月議会に上程するよう作業を進める。

② その中で必要があれば見直しを行う。

③ 人口減少や財源の縮小など社会構造も変化する。

減らさなければ減らないのが公共財産です。

③ 篠原理財課長
③ 美咲町普通財産

一般競争入札売払事務処理要綱の見直しは予定していないが、歳入確保、公正な売払い処分のため、多数の入札参加を図る工夫を行いたい。

④ 左表のとおり。

町有財産一般競争入札売払実績一覧表

年度	入札件数	落札件数	予定価格	落札価格
平成28年度	1件	1件	546万2,820円	547万円
平成29年度	0件	0件	0円	0円
平成30年度	4件	4件	824万1,617円	911万2,500円



左居喜次 議員

質問 事務効率化のために地形図作成を

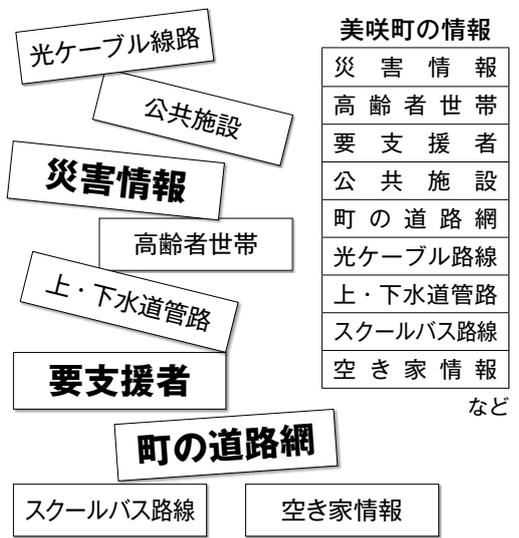
答弁 財源が生まれ出せるか検討する

問 現在美咲町で使用している地形図は、作成後21年から35年が経過している。このため地形図上に既存する施設の表示がないものや、道路線においても確認できないものまで存在している。新しく地形図を作成し、座標を持たせることで位置の特定ができ、防災面での活用はもちらんのこと、建物、上下水道などの台帳管理、さまざまな情報管理が可能と思われる。今後町としての対応を問う。

答 青野町長 情報管理が統一できれば業務もスムーズにすすめる。地形図作成に向けた財源が生まれ出せるかさらに検討を重ねる。

問 現在美咲町で使用している地形図は、作成後21年から35年が経過している。このため地形図上に既存する施設の表示がないものや、道路線においても確認できないものまで存在している。新しく地形図を作成し、座標を持たせることで位置の特定ができ、防災面での活用はもちらんのこと、建物、上下水道などの台帳管理、さまざまな情報管理が可能と思われる。今後町としての対応を問う。

答 青野町長 事業がある今だからこそなおさら早急に地形図を作成し、活用することで事務の効率化を図るべきではないか。



美咲町の情報：地形図を作成し、業務の効率化を！

質問 水出し操法用の訓練場所整備を

答弁 候補地を年明けの消防委員会に示したい

問 現在消防団で行われている消防操法訓練大会だが、来年度からの岡山県大会においては水出し操法となる。しかし、美咲町内には水出し操法ができる場所がない。操法は消防活動の基礎であり、消防技術向上のためにも早急に訓練場所の確保及び整備が必要と考える。

答 青野町長 水出し操法が決まってからいろいろな候補地を話し合う中で、全ての地域が利用しや

問 現在消防団で行われている消防操法訓練大会だが、来年度からの岡山県大会においては水出し操法となる。しかし、美咲町内には水出し操法ができる場所がない。操法は消防活動の基礎であり、消防技術向上のためにも早急に訓練場所の確保及び整備が必要と考える。

答 浦上くらし安全課長 地については決まっていなのが現状である。訓練場所にはかなり広目の平坦な敷地が必要なか、照明や水利などが必要なため、適



狙いを定めて放水開始



山田雄二 議員

町は美作岡山道路の 地元調整をしたのか

質問

平成9年から25年まで美岡道に 関する取り組みはなかった

問

平成9年3月17日付の「美作岡山道路の建設に関する覚書」という関係町長宛の文書の写しが柵原総合支所で見つかった。その覚書には「岡山県は美作岡山道路の建設に当たって誠意をもって履行するものとし、美咲町は地元調整等この事業が円滑に進められるよう協力するものとする」とある。

①本町が保有しているはずの覚書の原本はどこにあるのか。
②地元調整等とは具体的に何のことか。
③町長は3月定例会で

答

青野町長

①原本の紛失に昨年気づいた。大変申し訳ない。
②地元調整等とは、地元の合意形成のための調整を図ることである。
③過去の町政については、平成9年から25年までは町としても美作岡山道路に関する取り組みとしてはなかったものと認識している。

〇〇町長 殿

岡山県知事
石井正弘 印

美作岡山道路の建設に関する覚書

標記について平成9年3月17日付で覚書を締結した。

覚書

甲（岡山県）は、美作岡山道路の建設に当たって、誠意をもって履行するものとし、乙（瀬戸町・熊山町・佐伯町・吉井町・柵原町・英田町・美作町・勝央町）は、地元調整等、この事業が円滑に進められるよう協力するものとする。

この覚書の締結を証するため、本書9通を作成し、甲と乙が記名押印の上各自その1通を保有するものとする。
平成9年3月17日

見つかった覚書（一部抜粋）

質問

苦田ダム事前放流の周知は

答弁

告知放送やデータ放送で対応



問

災害防止対策として苦田ダムの事前放流と避難所マニュアルについて問う。

①苦田ダムの事前放流について、取り組み状況と住民への情報周知方法について示せ。
②避難所マニュアルの取り組み状況は。

答

青野町長

①ダム管理事務所から事前放流の知らせが来た場合、大雨の際の緊急放流と同じように告知放送やみさきテレビのデータ放送、新たにサービスを始めた美咲町メールで住民周知を図りたい。



提供：苦田ダム

轟音とどろく事前放流

問

大雨はいつ来るか分からない。自治会長は、避難所開設にまだ不安を感じている。基本モデルの早急な完成を望む。

答

浦上くらし安全課長

避難所運営マニュアルの策定が遅れていることは、大変申し訳ない。早急に完全なものとし、地域防災に役立てたい。



貝阿彌幸善 議員

質問

町政の問題点と課題解決策は

答弁

小規模多機能自治による人口減少の克服



どう変わるか 第三次振興計画

問

第二次振興計画の見直しが遅れている状況の中、新年度より第三次振興計画を進めると、町長は所信表明、6月・9月定例会冒頭、諸般の報告でしている。

多岐にわたっている。本町の最重要課題は少子・高齢化、過疎化に伴う人口減少の克服である。

全国的に上げられている課題について、30年以上前から国による政策がとられてきたが活かされていない。現在進めている政策について、現状での問題点と課題を十分に検証し、発想の転換を図り対策対応のできる振興計画に。

答

青野町長
町政上の課題は

取り組みの一環として「人輝くまちみさき」の考えのもと、地域が主役のまちづくり、地域の課題を自ら克服していくまちづくりの必要性を訴え、早い時期に小さな規模ながらも、さまざまな機能を持った地域運営の仕組み、小規模多機能自治組織をつくり人口減少を前提としたまちづくり、地域力を上げていく取り組みを進める。

質問

町の現状に対する副町長の見解は

答弁

合併後の一体感の醸成が課題

問

合併後15年を迎えた。旧3町の政策推進にむけて町民に、公正平等性を持った行政をとられている。

地理的に特徴あるものと感じている。町全体は、中山間地域と似た自然環境であり、共通の恵みを享受されているが、目標に向かっているが、目標に向かない課題であり、吉井川・旭川流域、陸路の幹線を有する地域の合併は苦勞もあつたところと感じている。

後の見えた目ではどう感じているか。

行政の進め方捉え方は、平等、公平が根本になってくると思われる。

あれもこれも、ではなく、あれかこれかに絞ることが大変重要である。

答

忠政副町長
それぞれが培つ



行政は公平・平等が根本



藤井智江 議員

柵原中学校建設が なぜ義務教育学校なのか

義務教育学校は 今の時点では決定していない

質問

答弁



まだまだ使える柵原東小学校

問

①柵原中学校建設がなぜ義務教育学校なのか。柵原地域だけでなく足並みを揃えるとして説明したが、将来的に美咲町内全小・中学校が義務教育学校になるのか。

②義務教育学校の創設には、柵原東小学校・西小学校の統合という問題があり、丁寧な説明と慎重な議論が必要だ。1回や2回の説明で済むものではない。9月9日の学校整備検討委員会で、地域説明会の意見を集約し、10月には町長に答申、とはあまりに性急過ぎ、

答

①美咲町全域を小中一貫教育に比較するべく、足並みを揃えたいと考えているが、義務教育学校は今の時点では決定していない。

②前教育長時代のことでも踏まえて教育委員会事務局の職員も多く参加し、皆さんの意見をお聞きした。私自身も誠実に答えた。私としてはお金が最優先とは言っていない。

質問

国民健康保険税の欠陥を認めるか

国の制度なので町の判断は難しい



問

①国民健康保険税の滞納総額は。②平成30年度の不納欠損件数、金額は。③8月時点の資格証、短期証の発行件数は。その内、18歳未満の世帯は。④18歳未満の均等割を半額にできないか。半額にしたとき必要な予算は。

答

平住民務課長 ①、②については下表のとおり。

答

山崎保険年金課長 ③資格証は52世帯、69人。18歳未満の世帯数7世帯、短期証の間は1カ月で4世帯の10人。18歳未満の世帯数1世帯。

④本町では子供医療費助成制度で満18歳に達した日以降の最初の3月31日までの人に、自己負担分を助成している。18歳未満の均等割の半額は考えていない。必要な予算額は213万665円。

問

国民健康保険税は、中小企業が入る「協会けんぽ」などと比べ高額となる制度の欠陥を認めるか。

答

青野町長 国の制度なので町の判断は難しい。

① 令和元年8月26日現在 (滞納繰越分・現年分)	滞納額	件数
	3,690万2,993円	331件
② 平成30年度	不能欠損額	件数
	158万1,652円	138件



金谷高子 議員

質問 みさき創生総合戦略の成果は

答弁 成果が上がっているとは言えない



資源を活かしてみさき創生

問

みさき総合戦略は平成27年から31年度（令和元年度）5年間で数値目標を掲げて進めてきて、残り1年を切った。

① 推計を上回る人口減少、少子高齢化が進んでいるが、具体的な成果は。

② 山本政策推進監は地方創生の取り組みで「急激な人口減少下でも豊かで安全・安心な住民生活を実現していくことにある」と言われているが具体策は。

③ 総合戦略の中で「教育環境なら美咲町が一番」と掲げている。柵原地域における学校建設への早急な対応は。

答

青野町長 ① 地方経済の縮小は変わらず続いており、成果が上がっているとは言えない。

5年間で人口1,000人余り減少、最終年で現状を分析・評価、政策を検証し原因を明らかにする必要がある。

答

山本政策推進監 ② 助け合いの精神のまちづくりを進め、お互いがお互いの幸せを守っていく取り組みを進めたい。

答

黒瀬教育長 ③ 説明会の意見をまとめ、検討委員会から町長へ答申する予定。熱意を持って早急に対応していく。

質問 電子母子手帳の導入はできないか

答弁 導入に向け準備を進める



問

美咲町の子育て支援は充実している内容であり、子育て中のお母さんに喜ばれ定住対策にも一定の効果を感じる。

私たちが子育てをしていた時代と違い、電子母子手帳はさまざまな情報が瞬時に伝わり、選択し、個人で管理できる。美咲町の手厚い子育て支援施策などに妊産婦と子育て世代に漏れなく享受される仕組みづくりの導入が考えられないか。

答

清水健康推進課長 電子母子手帳は、

答

青野町長 子育て世代に対応した便利なシステムである。子育てに関わる負担や不安、孤立感を和らげ、妊娠・出産から子育てまで切れ目のない支援が期待できるときに情報発信できるメリットもたくさんある。

答

電子母子手帳については妊娠、出産、子育て情報などを一括管理ができ、町としても必要なときに情報発信が可能で、非常にメリットが多い。導入に向けて準備を進める。



お母さんに喜ばれる母子手帳に



松田英二 議員

質問

防犯カメラ設置補助金の復活を

答弁

自治会への補助金制度を検討する



あなたは見られています

問

住民の安心と安全を確保する上で防災と共に重要視しなければならぬのが防犯活動である。

本町では、過去に自治会が設置する防犯カメラに対して補助金を交付する要綱を制定していたが、この制度が廃止されたのは何故か。

答

浦上くらし安全課長 平成26年に岡山県防犯カメラ設置事業が創設され、この補助金を活用して町内19カ所に防犯カメラを設置した。

この時、自治会が設置するものに対して補助金を交付する要綱を

問

制定したが、県事業が28年度で終了したため同時に町の補助金も廃止した。

問

津山市などでは、県事業が終了した後も自治体単独で補助金制度を続けている。

本町においても防犯カメラに対する補助金を復活させることはできないか。

答

青野町長 県が定めている防犯カメラ設置および運用に関するガイドラインを遵守する場合において、地域の犯罪防止、安心を確保するため補助金の復活を検討する。

質問

棚田の観光・営農・活性化策は

答弁

地元と協力し前向きに取り組む



岩野正則 議員

問

美咲町の財産である大坪和西と小山の棚田の荒廃が進んでいる。

棚田の営農方針と観光地としての活性化策を示せ。

答

青野町長 観光地として、また、営農の方針としては、棚田は農村の美しい原風景を形成し、災害防止、あるいは多種多様な生物が生息している豊かな生態系や多面的な機能を持っている。さらに、都市と農村の、交流の場としても新たな魅力が注目されている。

その反面、急峻な地形のため生産性や作業効率の悪さ、農業離れ

や高齢化による担い手不足などもあり、耕作放棄地の増加など、懸念材料があるのも事実である。

この豊かな自然を地域の皆さんの工夫とお互いの協働により、ふるさとの原風景として世界に発信していきたい。

個人での耕作が困難になった場合でも集落営農組織などを設立することで、組織での耕作により棚田の保全が継続されると考える。棚田は観光、営農、地域活性化に非常に大切な地域資源である。地元と協力し前向きに取り組んでいく。



急げ、棚田の保全策



若い人が出席できる議会報告会をしてほしい。

もう少し小地域単位で報告会を開催してもらいたい。

新町長が誕生して所信表明もあった。町の方針に議会としてどう対応するのか。

70人から叱咤・激励

美咲町の議員としてもう少し町内各地に出て来て全体を勉強してほしい。

議会として町に提案できる政策を期待します。認知症対策にもっと本腰を。





第8回 令和元年度議会報告会及び意見交換会 中央地域・旭地域・柵原地域で開催

議員はそもそも何をするのか。行政の見張り番、チェックするのが役目ではないか。

議会や役場の批判のみでは明るい町づくりにはならない。互いに考えよう。

町民と議会の直接対話

議員個人の主張は大切だが、重要な方向性を決定する政策については議会全体としての議論を重ねてほしい。

議会報告会を続けて開催することは素晴らしいことだ。

議会を傍聴しませんか

～令和元年12月定例会の予定～

- 12月2日開会～12月13日閉会の12日間を予定しています。
- 一般質問は12月3日～4日の二日間。

(面倒な手続きはありません。
一人でも団体でも傍聴できます)

表紙の紹介

～小学校4年生が消火訓練～

柵原西小学校4年生(16人)が消防団と一緒に消火訓練を行いました。



町民の皆さんこんにちは

サークル紹介
第33回

いざ! 鬼退治へ



美咲桃太郎の会

●いつ頃から活動していますか●

平成25年より始まった中央町誌編さんに伴い、日本にある桃太郎三大伝説よりも古いということが分かりました。有志で元祖美咲桃太郎伝説としてまちおこしをしようと活動を始めました。

●どんな活動をしていますか●

伝説ゆかりの地をめぐるウォーキング、桃太郎・鬼まつり、紙芝居、すごろく、桃太郎物産の開発、桃太郎名物料理など。全国桃太郎サミットへ参加しています。

●メンバー構成は●

20～80代の男女30～40人で活動しています。

●活動を始めたきっかけは●

私たちの住む美咲町が仲良く住みやすい地域になるよう、歴史ある民話を中心として仲良く楽しくつどえ、いろいろなことにチャレンジできる場を提供したい。

●楽しいことは何ですか●

活動することによって、多くの仲間と知り合え、日本中の桃太郎仲間と民話・歴史・芸術・文化の交流ができる。

●これからの活動は●

もっと町内外の多くの人に参加する楽しみを広めたい。保育園児～大学生までの多くの参加を希望しています。

●議会に一言お願いします●

美咲町に日本で一番古い「元祖美咲桃太郎伝説」があるということを広め町内外で成功している活動事例や物産情報などを教えていただきたい。

美咲桃太郎を全国に広めて下さい。

編集
後記

私たち議員は、
10月15日から17
日にかけて、北

海道3カ所を視察し「先進地」として認められるまでの足跡を丹念にたどることによって、我が町美咲町に活かせるのではないかと考えています。

今回の議会だよりでは、平成30年度の決算や3会場での「議会報告&意見交換会」について掲載しています。

私たちは、決算について町民の代弁者として職員からの説明を受け、議論し承認いたしました。

「主権者は町民であり、議員はその代弁者」であることを肝に銘じながら、責任を全うしたいと思えます。

皆様のご指導をよろしくお願いします。

(藤井記)

議会広報編集特別委員会

委員長 松田 英二

副委員長 藤井 智江

山田 雄二

延原 正憲

左居 喜次

岩野 正則